



緊急事態がなかなか解除にならない中、子どもたちの楽しみにしていた行事を順延せざるを得ず、本当に腹立たしく悲しいが続いています。

できるだけ2~3月には「おもちつき」「移動動物園」「豆まき」などは感染症対策を行い、進めていきたいと思います。かえで保育園の保育の進め方として「やりたい」「やってみたい」「やれた」の繰り返しはだいち組だけではなくめばえ組から始まり、その気持ちの目覚めから保育・教育を展開していきます。今回のクラスの様子では、部屋の壁に浮かんだ「虹色」に気づき触ってみたりのぞいて見たり・・・自然にできる光の屈折に不思議だな・・・きれいだな・・・の感情が伴い、まずは手を出しています。なんでも興味津々。毎日の生活の中で気づいたり・考えたりしていくことで感情や思考は育まれていきます。触ってはダメ！！汚い！！もうやめて～の大人の都合の声掛けは「やってみたい」の気持ちを「やってはいけない」に変えてしまい、自分から何かを始めるのではなく、与えられたことで完結してしまうようになってしまいます。子どもの冒険心を壊すこと⇒気力・体力・思考力も奪ってしまいます。この瞬間を共に気づき、感動できる保育のあれこれを大切にしています。

かえででの生活ではめばえ組の虹からふたば組の泥団子づくり・つぼみのお医者さん・ままごとごっここの模倣遊び・そして幼児のたこ焼き屋さん・相撲・野球・そして皆で楽器を使った合奏。すべてが子どものやりたいことから始まっています。

12月に出かけた神戸動物王国からだいちがずっと温めてきた動物を作りたい！！が少しずつですが完成してきています。



ふわふわで大きくてかわいい「アルパカ」
は乗れるよう工夫したそうです。
それに続いて「スナネコ」
この出来具合は今にも動き出しそうな
完成度の高い作品でした。
形づくりから材料の調達まで子どもたちが
考えてできた作品です。動物王国ができそう！



一方では相撲大会・・・大人気の「貴景勝」が欠場しても輝や大栄翔など今まで知らなかった相撲の力士の名前が飛び交い、寒い園庭でも「はっけよ～い。のこったのこった…」の掛け声が響いて活気づいています。毎日の子どもたちの様子から退屈でゴロゴロしたり、思考停止したりする時間は見受けられず、一日フル活動されています。これからも子どもからの発信を大切に 2020 年度の楽しかったことを継続しながら、進級の準備をしていきます。

今年度を振り返ると4月から保護者の方々との集会はできなかった…ですが、3月5日（金）にだいちの保護者会を予定しています。こどもたち一人一人の保育園での集大成を発表します。そしてかえで保育園での思い出を少しの時間ですが、分かち合いたいと思っています。どうぞ、ご予定ください。詳しくは近日中にご案内します。

また、ダンディタイムによる園庭整備とかえでカフェでの花壇づくりを予定しています。2月終わりがちから3月にかけて開催したいと思います。

春はそこまで来ています。 どうぞお楽しみに・・・

今年の冬は雪が降ったり、園庭の水たまりが凍ったりするほどの寒さが続きました。

子どもたちは雪が降る日には園庭を駆け回り、氷ができた日には手を真っ赤にしながらも自然にできた氷や溶けていく氷に不思議を感じ過したり、幼児クラスになると、「明日も氷を作りたい」と大きなたらいやトレーに水を溜めたり、「その中に何か入れるときれいな氷ができるだろう」と色紙や色の塗った紙を入れたり冬のような発見もありました。また少し寒さが緩むと虫メガネを片手に何かを探しに行きます。何を探しているのかそっとそばに行ってみると「ダンゴムシいないかなー」と草をかき分けてみながら、「お花も葉っぱも虫メガネで見ると大きくなるよ」と子どもたちに春がそこまで来ていることも教えてもらっています。園庭あそびでは季節の移り変わりを子どもの成長と共に楽しむことができます。まだまだ気を許せない生活が続きますが少しでも安心して園生活を送れるよう引き続き衛生管理に努めていきます。

主幹保育教諭 藤森寿美

日々の子どもの姿を見ていると、“あれもしたい”“これもやってみたい”という気持ちで溢れています。自分の足で向こうまで歩いてみたい、ご飯を自分で食べてみたい、乳児期の頃から好奇心を力に変えてどんどんと成長していく子どもたちです。

1月に入り、だいちさんからは“もうすぐ卒園だから”という気持ちが少しずつ感じられ、自分の中にある“やってみたい”を叶えるために、とても忙しそうにしています。かえで保育園での“やってみたい”が、自分自身で、友だちと、保育者と、おうちの方と、実現できるお手伝いが出来ればという気持ちで、日々を共に過ごしているところです。その中でも「〇〇が出来るようになりたい」という気持ちと葛藤している子どもの姿もあります。

今回は、音楽を通して葛藤を乗り越えるAちゃんのエピソードです。

“友だちは器用で何でも出来る、でも私は…”そんな声が聞こえてきそうな表情で、一歩引いて様子を見ているAちゃんがありました。誘いかけてみますが、「ん～でも…むずかしいかな」と一言。

翌日、「あのね、練習してみたらここまでできるようになったよ!」とこっそり教えてくれました。友だちと一緒に挑戦するにはなかなか勇気が出なかったようですが、おうちでこっそりと練習をしていたようです。

おうちでの様子や、保護者の方とのやりとりもぜひ尋ねてみたいと感じました。

それからというもの、友だちと音を合わせる楽しさも知り、保育園でも一緒に練習を重ねるようになりました。

今では、皆で合わせる度に「あたらしいところもドレミ書いて!」と、次に進む事への「わくわく」が止まらないようです。努力をして出来るようになったことももちろんですが、“できるかな”から“やってみよう”へ、そして自ら一歩踏み出したAちゃんの勇気に拍手を送りたいです

副主幹保育教諭 河本彩奈

～先生コーナー

今までジムに行ったり、外でランニングをすることがコロナの影響で難しくなってきた中、日課になっていることは、おうちエクササイズです。最初は妻と娘がyoutubeでエクササイズ動画を見ながら楽しんでいる姿を横目で見ていただけだったのですが、「楽しいからやってみてよ」と娘の言葉にしぶしぶ始めてみると、額や体全体から嘘のように汗が出る姿に妻も娘も唖然としていましたが、久しぶりに運動する楽しさに「次何する?」「このエクササイズ良さそう!!」と今では家族の中でも一番ハマってしまい、つい最近ダンベルとヨガマットまで購入してしまいました。できることができなくなってしまったことありますが、反対に今までできなかったことができるようになったことも私にとって新たな発見と喜びとなりました

河田 泰隆

～めばえぐみ～

ねらい：「好きなあそびを満足するまで楽しむ」

うた：「あたま かた ひざ ポン」「かごかご」「ひなまつり」

気温が低い日に少し園庭で遊ぶ時間を短くすると、今までよりも室内あそびが広がってきました。興味を抱いているとき新しいおもちゃが増えると楽しんでくれるかなと思い、お部屋を変更すると子どもたちのお気に入りにもなりました。詳しくは下記の子どもの様子をご覧ください。小さなお母さん、小さなお父さんの優しさをたくさん発見できそうで楽しみです。

「よしよし、ぎゅ～」

お部屋にある小さなぬいぐるみにご飯をあげたり、抱っこをしてお世話をしているので1月にはキッチンをお部屋にレイアウトしました。キッチン、机、椅子、そして、赤ちゃんが揃うとそれぞれにお気に入りのおもちゃを見つけて遊んでいます。ボウルに具材を入れてパクパク食べたり、お友だちに“あ～ん”として食べてもらうことを喜んだり、ご飯を作っています。赤ちゃんは抱っこをしてお散歩をしていたり、保育者のわらべうたに合わせて赤ちゃんをゆらゆらと揺れたり、高いたかいをしたり小さなお母さんがたくさんみていてとても微笑ましいです。

今まで自分たちがお家の人や保育園の先生、お兄ちゃんお姉ちゃんに心地良く関わってもらったことはしっかりと覚えているので、自然とそのような関わり方ができるのですね。



「キラキラ」

おままごとをしているとお部屋の壁にいつもない光を発見。

“あれ、これなに？”

“触ってみよう！”

“ん？どうしてにげていくの？”

“つかめないなあ”

とサンキャッチャーの光を見つけて捕まえようとしていた子どもたち。つかまえられずに残念そうにしながらも動く光をみて「きらきら！」と言葉でも伝えようとしてくれます。この光は日差しの関係でおやつ後にお部屋に出てくるので、一人が発見するとみんながすぐに集まって“きれいだね”と共感するように顔を見合わせて笑っている空間は、あたたかい時間が流れています。キラキラは小さな頃から子どもの心を動かしてくれるのですね。



“担任の思い”

保育者と過ごすことに安心を感じていた子どもたちが、毎日一緒に過ごすお友だちと同じあそびをする面白さを感じることができるようになりました。お部屋では保育者が近くにいなくても笑い声が響くことが増えました。“ぼくわたしとせんせい”から“ぼくわたしとおともだち”の世界に広がり子どもたちの興味関心もさらに広がっていくのですね。どのようなお友だちとの関わりがみられるのかこれから楽しみです。

立田 瑛怜菜・宝田 聖美・柴原 ちはる

～ふたばぐみ～

ねらい：「寒さを感じながら、身体を動かしてあそぼう」

うた：「おにのばんつ」「ひなまつり」「どんぶかっか」

寒さも厳しくなってきたこの頃、大人は寒くついついお部屋が…とってしまいますが、お外が大好きでとても元気なふたばさん。すっかり自分達で外へ行く準備もできるようになり、お友だちが困っていると手伝ってあげる姿も見られるようになりました。お友だちと手を繋いで園庭やお部屋を散歩したり、追いかけてこしたり、「すべり台行こっか！」「まつぼっくりあったよ！」と子ども同士で会話を楽しみながら日々遊んでいます。手洗いも上手になり、身体に気をつけながら元気に過ごしたいと思います。

“小さな図書室”

お部屋を少し模様替えしました。今までは絵本を先生が取り子どもたちに読んだり、先生が選んだ本を机で見たりしていましたが、子どもが自分で選べるように本棚をつくりました。絵本が大好きな子どもたちは毎日「どれにしようかな」と選んでは、自分で絵本を見たり先生に「よんで」と持ってくるようになりました。また、最近では先生の持ち方を真似て絵本を持つ子どもが増えました。ぬいぐるみを前に並べたり、お友だち同士で見せ合ったりもしています。「よんでもいいですか、いいよー」と小さな先生が何人も誕生しました。一人で集中してみる子どもや友だちと楽しむ姿など、様々な姿が見られて嬉しく思います。子どもたちの興味のあるものや季節の本など、その都度絵本を変えていきます。お気に入りの絵本を子ども達と探してみるのもおもしろいかもしれませんね。



“ぼく・わたしたちのカメラ”

サンタさんにもらったプレゼントを開ける時、目をキラキラさせて「なにかな」と楽しみな子どもたち。プレゼントを開けるとカメラのおもちゃでした。積み木をカメラに見立て「カシャ」と先生やお友達を撮ってみたり、先生のカメラをのぞき込んだりカメラに興味津々だったのでとても嬉しそうでした。先生がカメラを向け「はい、ちーず」と言うとピースしたり、いい笑顔を見せてくれるようになりました。カメラのボタンを押すとレンズから顔が出てくる仕掛けを知り、何度もボタンを押してはみんなで笑っていました。「ぼくもやりたい」と大好評のカメラです。「ここにすわって」「とるよ～」など上手にカメラを使いこなしています。「ほらみてみて」と撮った写真を本物のカメラのように見せてくれました。改めて大人の姿をよく見ているなと感じました。次はどんな写真を撮るのか楽しみです。

“担任の思い”

子ども同士の関わりが増え、お友達と楽しく会話を楽しみながら遊ぶ姿や、喧嘩する姿、お友達に優しくしてあげる姿など様々な姿が見られるようになりとても嬉しく思います。お友達が泣くと「どうしたの？」「ごめんね」など少しずつ気持ちを言葉してくれるようになりました。お友だちとの遊びなどからたくさんの経験をしてほしいと思います。ふたば組も後に2か月あまり。つぼみ組への準備として二階のお部屋に遊びに行ったりテラスで遊べる機会を増やしていきたいと思っています。また、はさみやのりなど手先を使ったあそびなども取り入れながら少しずつ「つぼみぐみ」を意識して過ごしていきたいと思っています。

星加由美子・植木雅・松岡桃花

～つぼみぐみ～

ねらい：「友だちの気持ちを考えようとする・幼児への憧れをもつ」

うた：「幸せなら手をたたこう」「コンコンクシンのうた」「ふるさと」

新年を迎え、お話しすることが大好きなつぼみさんは「お休みの日にはこんなことをしたんだよ！」とたくさん楽しい話を聞かせてくれました。ぐっと気温が下がり、冷え込むことの多かった 1 月ですが、お日様の光に当たると「あったかいねえ」「ここはさむくないよ」と教えてくれます。お友だちと誘い合って遊ぶこともさらに増え、子どもたち同士での会話に微笑ましくなります。残り 2 ヶ月のつぼみ組で過ごす時間も子ども達の楽しいお話がたくさん聞けることを楽しみにしています。

“つぼみぐみのおに”

紙をびりびりっとちぎれるかなと始まったつぼみ組の鬼作り。はじめは指の先を使ってちぎることが難しい子どももいましたが、こんな風にするんだよと教えるとみんなすぐに上手にちぎれるようになりました。大きくちぎったり小さくちぎったり…。ちぎった折り紙は、風船にボンドを塗って丁寧にひとつずつ貼り付けていきました。一日待って乾かしたあと、風船をパンッと

割って鬼のお顔が出来ました。「おにのつものつもの2

つにする！」と紙粘土で角を作ったり、毛糸の色やボタンの色を自分で選んでオリジナルの鬼が完成しました。

ひとつひとつ自分で選んで作った鬼は個性豊かな鬼になりました。完成した鬼を嬉しそうに手に取ると、友達同士で見せ合ったり「おうちにもってかえてみせる！」と大満足な様子のつぼみさんでした。

節分の日には玄関に飾りますのでぜひみてみてください！



“ふゆのあそび”

1 月は寒さの厳しい日が続き、「さむーい！」と毎日言っている子ども達でしたが、冬ならではの体験が出来るように子ども達と一緒にタライに水を張ってみました。次の日、園庭に出てタライを覗いて見ると、大きくて分厚い氷が完成していました。氷を見て子ども達もビックリ！

「こんなにおっきいよー」「つめたいっ」と氷の感触をお友達と一緒に楽しんでいました。その次の日…。園庭で遊んでいるとパラパラと雪が降ってきました。つぼみさんは大喜びで雪を集めたり、手のひらでつかんだり、バケツに入れてみたり。今年初めての雪を思う存分楽しみ、冬の遊びを満喫することができました。



“担任の思い”

友達と思いを伝え合ったり、トラブルになった時に自分たちで解決しようとしたり、「いーれーて」「いっしょにあそぼう」と誘い合ったりと保育者との関わりよりも子ども同士での世界を楽しむことが多くなってきました。上手く相手に伝わらずに喧嘩になることもありますが、「ちがうよ～、こうしたいんだよ～」と諦めずに何度も伝えながらどうにかしようと葛藤する今の子ども達の姿を大切に见守りたいと思います。

残り 2 か月のつぼみ組での生活のなかで、より一層子どもたちの関係が深まれば良いなと思います。

今井 奈沙・小坂橋 円香・尾崎美緒

～はま・かぜ1～

ねらい：「身の回りのことを自分でしようとする」「遊びの中で感じたことを伝え合う」

うた：「がんがん」「みんなともだち」「ふるさと」

お正月明けには、お家で過ごした出来事を嬉しそうに話してくれました。製作でおせち作りをしたり、たこあげ作りやかるたをしたりと、やりたいことを見つけて取り組んでいました。こま回しやけん玉では、出来るまで何度も挑戦すると、「みてみて！」と出来たことが嬉しいようで伝えに来てくれます。

「お家でたくさんおもち食べたんだよね～」、「きなこもちが好きだな」という会話が聞こえてきました。お部屋におもちつきセットを出すと、さっそく友達と息を合わせ「よいしょ！」と掛け声をしながらおもちをつく姿が可愛らしいです。“もちつき”の歌では歌詞の中にある「べったんこ！」に注目しながら歌っています。「おもちつきいつするの～」と楽しみにしています。

“氷がいっぱい”

園庭に出ると「寒いよ～」とかたまる子どもたちもいましたが、氷の不思議をたくさん発見できました。12月ではもみじの葉に霜が付いているくらいでしたが、「先生、見て！」「こんなところに氷ができてる！」と大興奮！

ピオトープやじゃぶじゃぶ池、バケツに溜まっていた水からできた氷などいろんなところから氷を見つけていました。触てみると「冷たい！」

「手が凍りそうだよ～」と友達と一緒に話しながらも、キラキラしている氷に興味を持ち、次は自分たちで氷作りに！紙切れや葉っぱを入れてみたり、ピンクや水色の氷を作りたいという子どもたち。「どうなるのかな？」「できるかな～」と話しながら、園庭に出る時は氷の様子を確認していました。できた氷を見ては、「固まってる！すご～い」「なかはどうなってるの？」と不思議がいっぱい。持って割れてしまうと少し残念がりながらも「もう一回つくろうよ！」と話し、子どもたちにとって自然に出てきた氷から、氷を作ることも楽しい“寒さ”だったようです。



“いらっしゃいませ～！”

「たこやきを作りたい！」という思いから粘土で始まったたこやきづくり。「こんな感じ？」と丸めると、「何色かな～」と話し、ソースや青のりを付けて美味しそうなたこやきを作っていました。卵パックの入れ物とお箸を用意するとお持ち帰り用のたこやきを作り、お店が開店しました。「たこやきいますか？」「いらっしゃいませ～」と声が聞こえると、「たこやきください！」と他の子どもたちも自然と集まり、列を作っています。「1つください！」

「熱いですよ～」と友達と言葉のやり取りや役割を楽しみながらお店屋さんが盛り上がっていました。



“担任の思い”

最近、ひとつ大きくなることを楽しみでときどきわくわく！乳児さんのお世話に興味を持ったり、「だいちゃんになったらおでかけたたくさんしたい！」など“やってみたい”という気持ちがどんどん見られます。自分の好きなことや、知ったことを友達と一緒にやってみたい、感じたことを伝え合ったりと気持ちが通ず合うときを大切に見守りながら、子どもたちが「おもしろい！」と感じてもらえるように過ごしていきたいです。

山本 あかね



“どんな音になるのかな”

かえでフェスティバルでみんなで合奏したことが楽しかったようで、楽器コーナーからは毎日楽しそうな音が聞こえてきます。様々な楽器を持ってきては、「先生、ピアノ弾いて！どんな音になるのか合わせよう。」と嬉しそうに声を掛けてくれます。

いろんな楽器の音が重なって、リズムが合うことが心地いいようで、「いまのすごくよかったよね！」「なんだかだいちゃんみたいでかっこいいね！」と大喜びです。

また、いま歌っている歌を合奏にしたいという思いから、「おひさまになりたい」という歌のメロディーを書き出すと、楽譜をみながらベルやグロッケンなど音階のある楽器を使って合奏する姿も見られます。

これからもいろんな楽器に触れて、音を楽しんでほしいです。



“かえで相撲 本場所スタート！”

相撲への興味はまだまだ止まらず、今ではいぶき組の子ども達も懂れて、ひかり組と一緒に、毎日のように特訓が行われています。

そんな真剣な姿が見られるようになったのも、本場所が始まったことが理由のひとつかもしれません。一人ひとりが力士としての名前を考え、作った星取表に、結果を書き込んでいきます。毎回真剣勝負のため、全身を使って喜んだり、

泣きながら悔しがる子もいれば、「大丈夫？」と駆け寄って様子を見守る子もいます。普段から一緒に練習しているからこそ、自分だけが強くなるというよりも、みんなで頑張るって強くなりたいという思いが強いように感じます。

また一生懸命に取り組むひかり組の姿を見て、隣で同じように、真似っこをしようとするいぶき組の子ども達も楽しそうです。

いよいよ番付表ができあがります。

春場所の開催もあるのでしょうか…。楽しみです。

“担任の思い”

新しい1年が始まり、「もう少しでひとつ大きくなるね。」と嬉しそうに話す姿がたくさん見られるようになってきました。憧れだったお兄さん、お姉さんになれることが嬉しいようです。そうかと思えば、「なんだか今日はぎゅーってしてほしいなあ…」とまだまだ甘えたい気持ちもあるようです。

友達との関わりを深めることも大切ですが、一人ひとりの「今日はぎゅーってしてほしい」という気持ちも大切にしながら、来年度に期待を持つことができるよう関わっていきたいです。

子どもたちにとって、楽しい！おもしろい！うれしい！でいっぱい1年になりますように。

林 奈津美

～だいちぐみ～

ねらい：「時間を意識して過ごす」「まわりの人に感謝の気持ちを伝えあおうとする」

う た：「ね」「ありがとうこころをこめて」「ふるさと」

1 月後半から寒さが和らいできて、園庭で過ごす時間も少しずつ長くなってきました。身体を温める意味も込めて、ドッチボールをよくしています。始めはボールに当たらないようにコートの中を逃げ回るだけでした。自分がボールを投げたい時に投げれないもどかしさや、当たってしまった悔しさを感じながらも「もう 1 回する」「今度は勝つ！」と意気込む姿も増えてきました。最近では「こっちに投げて！」「今いける！」と周りの子とパスを繋ぐことやボールを積極的に投げる攻めに挑戦するようになっていきます。ボールを受け取るコツを掴んだり、周りに頼ったり協力し合う大切さも感じているようです。

“1 年生になったら”

年が明けて、だいち組で十日えびすに行ってきました。今年もかえで保育園のみんなが元気に過ごせますようにと福笹と 5 円玉に思いを乗せてお参りしました。お参りをした後、だいち組で毎年行う小学校への準備として、商店街の文房具屋さんでノートと鉛筆を一人一つずつ買いました。

その日から、次の日の持ち物を自分たちで確認し、連絡ノートに書いています。「明日は何するの？」

「服も見てたほうがいいよね」と何度も確認しながら聞きにきたり、書き始めると真剣な表情に切り替わります。

分からないことは、隣の席の友だちに聞きながら一生懸命書き込んでいます。ひらがなで書くのが難しい子は、自分なりに考えて絵で描く工夫をしています。先に書き終えた子も、みんなで次の話を聞くことができるように一緒に待ちながら話を進めています。「小学校ってこんな感じかな？」ともうすぐ 1 年生になることが楽しみになってくれると嬉しいです。子どもたちから連絡帳をお家の方に見てもらおうよう声を掛けています。自分で確認しながら用意の様子を見守ってもらいながらノートを見てあげてください。



“担任の想い”

夕方の園庭遊びの後、子どもたちで時間を決めてめばえ・ふたばさんのお世話をしています。帰る準備を手伝ったり、体操をしたり、絵本を読んだりする中でお姉さんお兄さんとして頼られることを心地よく感じているようです。「〇〇ちゃんってふたばさんの時何してた？」「どんなことしてたんだろうね」と知りたくなくて、だいちさんが入園してからの写真を一緒に見返しています。「今と顔変わらないね」「この時から楽器好きだったんだ」と今の自分と繋がっていることを知るきっかけにもなっています。卒園前になるとこんなことができたかな…と考えがちですが、振り返りながら“こんなことができるようになった”と大人が見る視点を変えることで見えてくるものもあるかと、日々のだいちさんの姿から気付かせてもらっています。成長と一緒に感じながら、側で見守ってくれる温かい目が沢山あることに気づいて“自分探し”をしていきたいと思います。

日笠 加菜

保護者の方からのお話コーナー

保育園生活もあと少し…。

だいち組になってからの、うんどう会や成長発表会は今までで一番成長を感じた時でした。泣く事も多かった娘が、家に帰ってきて先生やお友達の話しを楽しそうに話す姿を見て、本当に楽しんで毎日通っているんだなと感じます。大好きなクラスなので、さみしい気持ちもありますが残りわずかな時間を楽しんでほしいの思い出を作ってほしいです。

だいち組 ともみさん

入園当時は泣いてばかりだった娘。今では園に行くことが生活の一部となり、到着したらいそいそとお部屋に向かいます。出来なかったことがいつの間にか出来たり、日々驚きの連続です。園で毎日先生方やお友達と過ごしているからこそその成長と思っています。

めばえ組 あきこさん

今までは「これなに?」「どうなってるの?」と聞いてきましたが、年中さんになって「どうなってるのかな、調べてみる!」と本や図鑑で調べるようになり成長を感じます。

ひかり組 あやかさん

最近とてもお話が上手になってきました。家に帰るとお友だちや先生のことを楽しそうに聞かせてくれます。

これからもたくさん楽しいお話が聞けると嬉しいですね。

ふたば組 たつやさん

「今日保育園で何してたの?」と聞いても、「忘れた」「何もしてない」と言ってほとんど何も教えてくれない息子。この前、不意に「うさぎの〇〇と〇〇は顔が一緒だから、

どっちがどっちか分からないの」と言い出し、どうやら保育園で読んだ本の話をしている

様子。そんな風に、もっといろいろ話してくれる日が来ればいいな〜と母は楽しみにしています。

いぶき組 ゆきさん

ふたば組の時からマイペースで不安になることも多い娘でしたが、先生、お友だちに助けられのびのびすぎるくらいのびのび成長しました。

残りわずかな保育園生活、親子ともども楽しみたいです。

だいち組 あきこさん

☆お台所より☆

冬の寒気もようやく緩み始め、日差しの明るさが少し春の気配を感じる季節になりましたね。年が明けてから 1 月もあっという間に過ぎもう 2 月。今月も旬の食材を多く使い、美味しいごはんを作りたいと思います。

< 1 月の食育活動の様子 >

< 七草がゆ >

- ・ 1 月 8 日のおやつに七草がゆをしました。春の七草（せり・なすな・はこべら・ごぎょう・すずな・すずしろ・ほとけのざ）を午前中に幼児クラスに持っていきました。すずなやすずしろを見ると、「めっちゃ小さいだいこんやね」「これってもしかしてかぶ？」など話していました。又、お正月に美味しいものを食べたお腹を休めることや、これから 1 年病気にならないように昔から食べ続けてきたことなどを話すと「昔の人ってなんで草食べようと思ったのかなあ？」「病気にならないように食べる」など思ったことを色々話していました。



< ちぢみほうれんそう >

- ・和え物にちぢみほうれんそうを使用しました。ちぢみほうれんそうとは冬に露地栽培をしていることで、冬の寒さに耐えながら育つため、葉がちぢむことからこの名がつけられたそうです。通常のものより甘みが強く、えぐみが少ないのが特徴です。子どもたちに普通のほうれんそうとちぢみほうれんそうを見比べてみると「葉っぱがしわしわで形が違う」「色もちぢみほうれんそうのほうが濃い色してる」「茎の太さが違う」など、感じたことを沢山話していました。来月の献立にも取り入れてみたいと思います。

< 2 月に予定している食育活動 >

- ・ だいち組はおやつに大豆を炒って炒り豆を作ります。
- ・ 16 日におもちつきを予定しています。

< 2 月の献立で使う旬の食材 >

たら	かぶ	はくさい	だいこん
ブロッコリー	ちぢみほうれんそう	りんご	みかん



• 水ぼうそうが流行っています。

基本、接種済みの園児が多くいますが軽く発症している子どもが増えてきています。

身体に発疹が出ている場合は必ず受診してください。

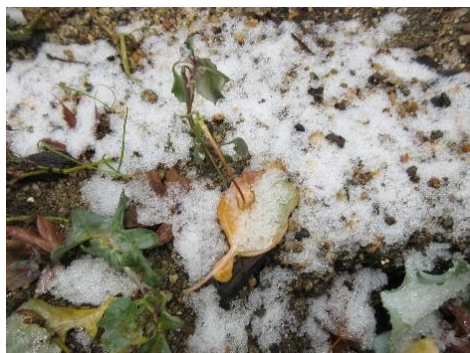
(登所届が必要となります)

- 2月2日 節分の豆まきは大豆→紙の豆とし、だいちのみ炒った豆を食べますが2～幼児は「カラカラせんべい」を食べます。
- 2月16日 お餅つきの様子を見ます。
- 名前が記入されていなくて困っています。今後は感染症予防のため置きっぱなしの忘れ物は掲示した後、処分させていただきます。

こんなことしたよ♪



～寒い日の朝、じゃぶじゃぶ池も凍りました～



～園庭に雪が少し積もりました～

★お願い★

• 体調管理をお願いします

緊急事態宣言後も感染者数はあまり減りません。いつ身近なところで広がってもおかしくない状況です。

園では引き続き、衛生管理に努め、丁寧に消毒等を行っていますが、新型コロナウイルスに加えて、水ぼうそう・インフルエンザ・胃腸風邪も出てきています。

登園時の検温でも微熱があった場合、また下痢・嘔吐などの体調のすぐれない場合は**保育はできません**。

次いで解熱しても2日はご家庭で様子を見ていただき無理をして登園することは避けてください。

その際、**ご兄弟の方も一緒に家庭保育をお願いします**。

皆で健康管理に努め、感染防止にご理解、ご協力ください。

• 内服薬、気管支拡張剤の預かりはしません。

• 保育園生活で完全に感染を防ぐことはできません。保護者の方が仕事をお休みの場合は家庭保育をしてください。

• 休暇の場合に保育が必要な場合は必ず事前にお知らせください。



2月予定

- * 2日(火) 節分の会
- * 6日(土) 新入園児説明会
家庭保育にご協力をお願いします
- * 8日(月) ひかり・だいち雪あそび
- * 12日(金) 全園児お弁当日
だいちお出かけ(詳細は後日お伝えします)
- * 16日(火) おもちつき
- * 17日(水) 警察立ち合い避難訓練
眼科健診
- * 20日(土) 園内研修
13時までの保育となります
- * 24日(水) 月例健診
- * 26日(金) 誕生会
- * 4・18・25日(木) 体操
- * 3・19日(水・金) 絵画

3月の予定

- * 5日(金) だいち懇談会
- * 13日(土) 卒園式
卒園児以外は家庭保育となります
ご協力をお願いします
- * 27日(土) 年度末会議
お弁当日となります
できるだけ家庭保育にご協力をお願いします
- * 3月お別れ遠足の日、弁当日となります